

当社は、さらなる企業価値向上を目指すための脱炭素化を促進させる取組として、自社工場において、より少ないエネルギーで工作機械を製造できるよう、エネルギー消費量の削減と生産工程の見直しによる改善を模索しております。また、お客様の生産活動のために、より効率的に工作機械をお使いいただけるよう省エネルギーにつながる加工技術の開発に取り組んでいます。

本事業では、太陽光発電設備の導入や高効率空調、LED照明への更新などの取組を実施することで、当社としての企業価値の向上とCO2排出削減の両立を図ることを目指します。

1. 事業適応計画の実施期間

2023年3月～2024年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を10.75%向上させます。

3. 前向きな取組の内容

- ・厚木事業所、富士吉田工場、福岡営業所及び名古屋支店に太陽光発電設備を導入し、自家消費することによりCO2排出量を大幅に削減します。
- ・厚木事業所、富士勝山事業所及び鳴沢工場の照明をLED照明に更新することで、省エネにより炭素生産性を向上させます。
- ・厚木事業所の空調設備を高効率タイプに更新することで、事業所の省エネ化を進めます。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<対象設備・設置場所>

太陽光発電設備（厚木事業所・富士吉田工場・福岡営業所・名古屋支店）、高効率空調設備(厚木事業所)
LED照明（厚木事業所・富士勝山事業所・鳴沢工場）

